

平成29年6月定例会一般質問事項

発言順位1 20番 川崎和子議員 (一括質問)

1 暮らしやすい磐田市になるために

- (1) 3期目の市長が、磐田市政において最も今、課題と感ずることを伺う。
また、市長が描く磐田市の未来像について伺う。それに伴う重要施策を伺う。

2 一人一人が輝く教育の充実について

- (1) 子どもは地域の宝である。どの子どもにも伸ばすべき力がある。教育長の教育観について見解を伺う。現在の教育行政の課題と未来像があれば伺う、それに伴う重要施策を伺う。
- (2) 学習障害の生徒達が増加している。現在の磐田市の取り組みについて以下伺う。

小・中学校別に人数が分かれば伺う。今の状況認識を伺う。

教諭の学習障害への理解、研修、現在の対応を伺う。

LD教室の実態、課題、今後の方向性を伺う。中学にも必要との声が多いが対応を伺う。

ディスレクシアは、学習障害の一種で、知的能力及び一般的な理解能力などに特に異常がないにもかかわらず、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える障害である。見え方が特異で、文字が躍る、動く、かすれるなどと当事者たちは表現する。世界全ての地域で確認され、人口の3～7%くらい見られるが、それがハンディーになっているのは20%程度と言われている。欧米では専門の学校が出来ている。ディスレクシアへの磐田市の認識と具体的な対応を伺う。

平成28年4月施行「障害者差別解消法」の中にある「合理的配慮」は障害を持つ人々に対して必要な環境整備などの配慮を行うこと、となった。それにより、発達障害児を取り巻く学校環境が大きく改善すると期待されている。合理的配慮の磐田市の取り組みの具体例と今後の方向性を伺う。

現在の支援員の現状を伺う。「合理的配慮」に基づいた研修や指導等がなされているのか伺う。

就学支援委員会が設置されているが、どのような仕組みになっているか伺う。早期発見・早期対応が望まれるが現状はどうか。

保護者への理解、今後の対応について伺う。